

## 《 参考資料 》

# 職場体験を実施するにあたって

社会福祉法人福島県社会福祉協議会

### 魅力あるプログラムを作りましょう

- 参加すると何を知ることができるのか？ どんな体験ができるのか？ … 参加する人の興味や関心がどこにあるのか想像しながら、みんながワクワクするような、楽しくて勉強になるプログラムを作成してみてください。
- 参加してよかった！と思ってもらえるような、新しい発見や体験ができる中身の充実したプログラムをぜひ企画してみてください。
- 福祉・介護の仕事や魅力を体験してもらおうプログラムの中に、施設の職員や利用者と一緒に楽しめる企画（食べもの、ゲーム、特典付き企画など、ワクワク感、お楽しみ感を演出できるプログラム）を取り入れると、より一層魅力あるプログラムとなります。

### 積極的にPR・広報活動をしてみましょう

- チラシやポスターは、分かりやすく内容が伝わりやすいものを作りましょう。  
例えば、「職場体験をしてみよう！」というタイトルだけでは、具体的に何をするのかよくわかりません。職場体験を通じて何を知ってほしいのか、何を体験してほしいのか、そのメッセージが伝わるように工夫をしてみましょう。
- ホームページで案内する方法もあります。ホームページでは、チラシを掲載するだけでなく、詳しい内容（どんなことを体験するのか）を掲載したり、施設の様子や職場体験の内容をイメージできるような写真などを掲載すると、より参加しやすくなります。
- 施設の広報紙、その他様々な媒体を使って周知してください。

### 参加対象に合わせてPR・広報活動の工夫をしてみましょう

- 想定される職場体験の参加者は、中学生・高校生、学生（専門学校生、大学生）、一般の方 … となります。

## 中学生・高校生、学生（専門学校、大学など）へのアプローチ

- ⇒ 学校に訪問し、直接先生と話をし説明してみましょ。先生が関心を持たないと参加につながりません。チラシを郵送するだけでは効果がありません。
- ⇒ 高校生の就職希望者をターゲットに進路担当の先生を通じて参加者を募集してみましょ。
- ⇒ 採用実績のある学校（職員の出身校）に行ってみましょ。チラシに卒業者（職員）のメッセージや写真などを入れるとより身近に感じてもらえます。また、卒業者（職員）と一緒に学校を訪問してPRすると、より効果があります。
- ⇒ 夏休みや冬休みは生徒・学生が参加しやすい期間となります。長期休暇に入る前に学校へ積極的にPRしてみてください。
- ⇒ 学生の場合、福祉・介護の分野に限らず、栄養士を目指す人、医療系を目指す人、教員を目指す人などの関連分野の学生にも積極的にPRすることで参加対象の幅が広がります。

## 一般の方、求職者などへのアプローチ

- ⇒ 介護職員初任者研修や実務者研修など、福祉・介護に関心の高い人が集まる機会（場所）にチラシを配布したり説明すると効果が期待できます。ぜひ、研修実施機関に問い合わせてみましょ。
- ⇒ ハローワークを訪問し、福祉・介護職希望者の方にチラシを配ってもらえないか相談してみましょ。また、求人票を出す際に申し出してみるのもひとつの方法です。
- ⇒ 行政機関（役場や公民館など）を通じて福祉・介護の職場を知ってもらう機会として職場体験事業の理解を求め、周知の協力を得る方法もあります。

## 最後に…

- 過去に参加した人の「おもしろかった」、「ためになった」、「就職（進路選択）に役立った」などの『良い印象』の口コミが広がると、次の新たな職場体験申込みにつながります。
- 毎年参加する、年間を通して継続的に参加するなどの「学生リピーター」が就職につながるケースがあります。
- 積極的に地域に出てPRしてください。「待ち」の姿勢ではなかなか人は集まりません。学校、関係機関や地域の様々な場所や集会などに積極的に足を運んでPRしてください。“顔の見える関係”、“地域とのつながり”ができることは単に職場体験事業のPR効果だけに収まらず、施設と地域の新たな良い関係づくりにきっと貢献します。